



人はみな、生かされて、生きてゆく。

更生保護

# サポートセンター 和歌山

和歌山市8番丁4  
和歌山保護司会  
更生保護サポートセンター和歌山  
発行者 和歌山保護司会会長  
編集 企画調整保護司  
073-460-9298

## 北支部県外研修 和泉学園を訪ねて

北支部では、十一月三十日から一泊二日の県外研修を行いました。研修会には、二十二名の支部保護司が参加し、有意義な研修となりました。

まず、阪南市にあります「和泉学園」を視察し、同学園次長から学園の説明を受け学園内を視察しました。学園は、関西空港を目前に、遠くは神戸を望み、紀泉山脈の山懐に建設された素晴らしい施設であるとの印象を受けました。

この学園は、旧和泉少年院から平成四年に現在の「和泉学園」と改称したそうです。

収容者は、近畿二府四県の家裁裁判所で決定のあった十四歳から十八歳の少年です。収容定員は、短期処遇者（おおむね五ヶ月）100名、長期処遇者（おおむね十一か月）150名とのこと。

学園は、「やる気・根性・勇氣・おもいやり」をモットーに、教科教育・生活訓練等を実施しているほか、長期処遇者には職業能力開発等を実施し、集団生活、社会生活の大切さを教育しているとのことでした。

館内視察では、収容者の生活の場や職業訓練の場等を見学しましたが、収容者のしつけ教育等の変遷が垣間見られた研修



でした。

最後に次長から、「保護司の皆さんに迷惑をかけない人間にすることを心掛けている」との言葉をいただきました。

「本当にそうあってほしい」と願うのは私だけであろうか。

この後、城崎温泉への親睦旅行となり、大いに盛り上がり有意義な県外研修となりました。

北支部宮本記



## 和歌山保護司会「各部総会」並びに「新年互礼会」盛大に開催される。

去る一月二十二日、アバローム紀の国において和歌山保護司会の各部会総会が開催された。出席会員は126名。各部会で活発な意見交換がなされた。

引き続き行われた新年会には102名の会員が参加。大橋市長を始め大勢のご来賓をお迎えし、あちこちに交歓の花が開き今年一年の活動の決意と、会員相互の絆を深める会となった。



各部総会模様

**総務部会 出席者25名**  
土山会長よりサポートセンターについての話があり、引き続き総会に入った。今年度より総務部の所管となった「人権フェスタの映画会」について、保護司にもっとPRする方法はないのか、来年度も実施した方が良

い等、様々な意見が出された。その他、保護司の仕事をもっと理解してもらおう有効な催しはとか、顕彰式をもっと有意義なものにするかなどができないか等活発な意見交換がなされた。

### 研修部会 出席者33名

平成二十四年度の一事業として実施したアンケート結果に基づき意見交換が行われた。アンケートの回収率は約74%。回答には様々な意見があったが「研修会」は概ね「保護司としての義務である」と感じている保護司が多かったように思います。また、今後の研修会のあり方等については、本日の意見を含め、役員会にゆだねることとした。

### 犯罪予防部会 出席者31名

部会長より平成二十四年度の事業報告の後、活発な意見交換が行われた。その中で、和歌山保護司会の動きは把握できるが各支部独自の犯罪予防活動等についても、もっと知りたいとの要望が出され、新年度からその意見が反映できるよう役員会で検討し、何らかの形で実施することを決定した。

### また、犯罪予防活動の拠点としてのサポートセンター和歌山の有効活用について、小西担当副会長より熱い訴えがあった。

協力組織部会 出席者33名  
平成二十四年度の事業報告後協力雇用主名簿について話し合いがなされた。その際、保護観察所担当職員が一年で交代するケースがあったが、重要な雇用

支援の職務であるので、専門的に出来る限り長期に担当してほしいとの意見が出た。また、平成二十五年度では、各支部の部員が協力雇用主様のところに必ず訪問させて頂くことを決定した。



## 今年も届けた 愛の心（物資）

和歌山県更生保護女性連盟  
（以上各部会長よりの報告）

県更生保護女性連盟は12月21日、和歌山保護観察所で恒例となった「愛の物資」の贈呈式を行った。  
愛の物資の贈呈は、刑務所の受刑者や、更生保護施設の入所者の生活に役立ててもらおうと昭和55年から毎年行っており今回で32回目。更生保護女性会員約2800人が地域住民らに協力を呼びかけ集めた、ミカン240箱・米400kg・タオル1200枚・毛布等を県下の関係施設に贈った。



## 楽我記 コーナー

「らくがきコーナー」と名付けた会員の皆様の自由投稿欄を新設します。

皆さまに読んで頂く「サポートセンター」にしたいと考えています。例えば、活動の中で疑問に思われることや、趣味の俳句や短歌・川柳・随筆・随想、あるいは旅行記等、なんでも結構です。常時募集いたしておりますので思いついたら、いつでもどんどんお気軽に投稿ください。お待ちしております。

投稿先  
所属支部長または各支部企画調整保護司まで。あるいは、サポートセンターまでFAXください。  
FAX番号  
（425）1301

更生保護サポートセンター和歌山では  
各種報告書の様式・書式をご希望の  
保護司の方に配布しています。  
「ワード・エクセル・一太郎形式でのPC入力用」  
保護司の方に限ります。「保護司の証票」の提示を求めることがありますのでご用意の上、サポートセンター駐在保護司にお申し出ください。  
サポートセンター 電話 073-460-9298